

競技運営マニュアル

1 競技会開催までの準備

1-1 競技会場の確保

大会開催が決定したなら、最大出場チーム数を基に競技会場を確保する。

1-2 大会申し込み

大会要項、大会参加申込書を作り、参加チームに郵送し、締切に間に合うよう申し込みを完成するように参加チームに徹底する。

※大会申し込みに関する注意事項

- ①申し込みに必要な書類及び参加料は、それぞれの締切期日までに東海学連事務局に必着のこと。尚、申込締切期日に間に合わない場合は受け付けないことを原則とする。
- ②選手及び背番号の変更は代表者会議までとする。
- ③大会申込書やその他の添付書類の記載欄にはもれなく記入すること。

1-3 抽選の準備

代表者会議において貼り出す組み合わせ表（見やすいように拡大した物）、抽選用のチーム名、抽選棒を作る。

1-4 大会プログラムの作成

競技会を開催するにあたって下記項目を基準に大会プログラムを作成し、参加チーム、役員及び報道関係者に配布する。 ①目次 ②挨拶

- ③役員紹介 ④大会日程 ⑤開・閉会式々次第 ⑥組み合わせ表 ⑦出場チーム一覧表
- ⑧選手名簿（必要に応じてチーム写真）⑨会場案内図 ⑩過去の成績 ⑪広告（ボールメーカー等）
- ⑫大会本部の連絡先

2 競技組織

2-1 競技委員会の組織（大会に応じて適宜変更する）

競技委員長・競技副委員長・男子部競技委員長・女子部競技委員長

競技委員学生担当主任・男子部競技委員学生担当主任・女子部競技委員学生担当主任・競技委員

2-2 競技会での競技委員会の仕事内容

競技委員は競技会において競技委員長、コート主任、会場主任にわかれ、それぞれ以下のような仕事をする。

1. 競技委員長：競技委員長は、競技会の運営並びに進行をつかさどり、会場の変更、競技会の中止、延期等競技運営に関する一切の問題について最終決定をする。
2. コート主任：コート主任は大会運営中に以下の仕事をする。
下部リーグにおいては、会場校の大学が、コート主任統括となり、当番校・本部担当校・審判担当校と協力して行う。
 - ①コートを設置し、コートに関する全ての点検確認を行なう。
 - ②ネットの高さ、張り具合、ネットの両端の処理。
 - ③サイドバンド、アンテナの位置点検。
 - ④試合開始 30 分前に使用球の気圧測定をし、その後毎試合間にもこれを行なう。
 - ⑤受付時にエントリー用紙をチームに渡し、前試合の 1 セット目終了までに大会本部に提出してもらう。
 - ⑥エントリー用紙と参加申込書を照らし合わせ番号、選手名に誤りがなければ記録用紙に貼る。（貼る位置はプログラムと同じく左右間違えないようにする。） ※選手変更は認めない。幹部についてはエントリー用紙提出までに正式届出用紙で届け出のあった場合のみ登録されている者の中から代理を認める。
 - ⑦プロトコールの時間設定をする。
※設定時間がある場合はそれに従う。但し、前試合の終了ホイッスル後、最低 10 分を要する。
※アナウンスがある場合に限り他コートとプロトコール時間を合わせることもあるが、その時は前もって主審、副審、両チームの監督又は代表者に伝える。
 - ⑧得点板にチーム名をプログラムと左右同じように貼る。（コイントスによるコート選択とは関係ない。）
 - ⑨次の試合の補助員をプロトコールの 5 分前までに集める。

※1 部リーグ

プログラムの左側のチーム：ラインジャッジ（4名）、JVIMS（2名）、点示員（2名）の計8名

右側のチームからはスコアラー（1名）、アシスタントスコアラー（1名）、ボールコレクター（6名）の計8名

※2 部リーグ男子

プログラムの左側のチームからラインジャッジ（4名）、スコアラー（1名）、アシスタントスコアラー（1名）、必要に応じて主審（1名）・副審（1名）の計8名

右側のチームからボールコレクター（6名）、点示員（2名）、JVIMS（3名）の計11名

※2部リーグ女子

プログラムの左側のチーム：主審（1名）、ラインジャッジ（4名）、点示員（2名）の計7名

プログラムの右側のチーム：副審（1名）、JVIMS（3名）、ボールコレクター（2名）、スコアラー（1名）、アシスタントスコアラー（1名）の計9名

※3部リーグ以下

ラインジャッジ（4名）、スコアラー（1名）、点示員（2名）、主審（1名）・副審（1名）の計9名

※トーナメント戦

第1試合を第3試合の両チームより、プログラムの左側のチームからラインジャッジ（4名）、右側のチームからスコアラー（1名）、点示員（2名）計3名。

第2試合以降は前試合の負けチーム。

⑩試合間にライン、支柱等コート内をチェックし、ラインが剥がれていたら修復する。

⑪記録用紙記入が終了したら戦績表と組み合わせ表、競技ノートに記録用紙を参照にして正確に点数を記入する。トーナメント表に記入する場合は勝ちチームを左、負けチームを右に記入する。

3. 会場主任：会場主任は大会運営中に以下の仕事をする。

- ①競技会場等の施設の統括。
- ②本会場における競技会名称の「看板」及び「旗」の位置を確認する。
- ③競技場内の諸規則（採光、換気等）に留意する。

3 競技会の運営

3-1 代表者会議

代表者会議は原則として試合1週間前に参加チームの代表者を集めて大会委員長の主宰の下に次の次第により開催する。

式次第

- ①挨拶：大会委員長
- ②競技上の確認（注意事項）：競技委員長
- ③審判上の確認（注意事項）：審判委員長
- ④総務上の確認（注意事項）：総務委員長
- ⑤他の連絡事項
- ⑥質疑応答

3-1-1 代表者会議における競技上の確認事項

代表者会議において競技委員長は下記事項を参加チームに確認する。

- ①競技日程について
- ②競技開始時刻について
- ③試合の方式、3位決定戦の有無について
- ④選手変更の手続きについて
- ⑤体育館の開館時間について
- ⑥使用球について

3-1-2 代表者会議におけるエントリー変更

申し込みの変更（部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・選手及び背番号に関する変更）は、所定の用紙にて代表者会議の際に受け付ける。原則、背番号の変更は認めない。又、それ以後の変更は一切認めない。

3-2 競技時間

- ①競技時間は、3セットマッチの場合は1試合1時間を基準とし、5セットマッチの場合は1試合1時間30分を基準として、各コートの開始時刻をプログラムに記載することを原則とする。
- ②競技日程の編成は、3セットマッチの場合は1チーム、1日3試合、5セットマッチの場合は1チーム、1日2試合を限度とする。
- ③準決勝、決勝は開始時刻を明記する。尚、各試合の開始は記載された時刻より遅れることはあっても、それより早く開始することは出来ない。
- ④競技会における試合時間の表示は、ホイッスルの時間とする。
- ⑤プロトコール開始は、3セットマッチの場合は試合開始時刻の11分前、5セットマッチの場合は試合開始時刻の15分前とする。

3-3 競技会の形式

競技会の形式は、通常①トーナメントを中心とした形式 ②リーグ戦形式に大別できる。そのいずれによるかは、競技会の性格、施設、時間、及び参加チームなどの諸条件を考慮して決定する。

①トーナメントを中心とした形式

・東海大学男女バレーボール選手権大会

参加チーム数が「2」の累乗でない場合は、第1回戦でいくつかの不戦勝枠を作る。不戦勝枠の数は参加チーム数に近くてより大きい「2」の累乗から、参加チーム数を引いたものである。試合順序はコート数によって異なるが、原則として高シード位置より順に設定する。但し、あくまでも連続試合を避ける。

②リーグ形式

東海大学男女バレーボールリーグ戦

男女最下部については原則としてリーグ戦方式で行うが、チーム数によってはトーナメントを中心とした試合方式に変更しても構わない。

②-1 リーグ形式における試合順、補助員、当番校の決定方法（数字は前回当該大会の順位）

1リーグ8チーム制：総当たり戦（例：1部男子）

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7日目
第1試合	1-8	3-5	4-7	2-6	5-8	1-3	7-8
第2試合	2-7	1-7	2-5	4-8	1-4	5-7	5-6
第1試合	3-6	4-6	1-6	1-5	2-3	6-8	3-4
第2試合	4-5	2-8	3-8	3-7	6-7	2-4	1-2

上・下位リーグ（数字は総当たり戦後の順位）

	第8日目	第9日目	第10日目
第1試合	5-8	6-8	7-8
第2試合	6-7	5-7	5-6
第3試合	1-4	2-4	3-4
第4試合	2-3	1-3	1-2

1リーグ6チーム制：5日間、1日3試合で行う場合

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目
第1試合	1-6	2-3	1-4	4-5	5-6
第2試合	2-4	1-5	3-6	2-6	3-4
第3試合	3-5	4-6	2-5	1-3	1-2

※二回戦制の場合はその週（土、日）は同じ組み合わせで行ない、二周戦制の場合、第6～10日目は表の組み合わせを繰り返す。

1リーグ7チーム制：3日間 1面進行（1日7試合）

1日目	審判	本部	2日目	審判	本部	3日目	審判	本部			
第1試合	1 - 7	4	5	第1試合	2 - 4	3	7	第1試合	6 - 7	3	1
第2試合	2 - 3	1	6	第2試合	1 - 5	2	6	第2試合	2 - 5	7	4
第3試合	4 - 5	2	7	第3試合	3 - 7	1	4	第3試合	1 - 3	5	6
第4試合	1 - 6	5	3	第4試合	2 - 6	7	5	第4試合	4 - 7	2	3
第5試合	2 - 7	6	4	第5試合	1 - 4	6	3	第5試合	5 - 6	1	2
第6試合	3 - 5	7	1	第6試合	5 - 7	4	2	第6試合	3 - 4	6	7
第7試合	4 - 6	3	2	第7試合	3 - 6	5	1	第7試合	1 - 2	4	5

1リーグ7チーム制：3日間 2面進行（1日4試合）

1日目	Aコート	審判	Bコート	審判	本部	2日目	Aコート	審判	Bコート	審判	本部
第1試合	1 - 7	4	2 - 3	5	6	第1試合	2 - 4	3	1 - 5	7	6
第2試合	4 - 5	2	1 - 6	7	3	第2試合	3 - 7	1	2 - 6	5	4
第3試合	2 - 7	6	3 - 5	1	4	第3試合	1 - 4	6	5 - 7	2	3
第4試合	4 - 6	3			5・2	第4試合	3 - 6	4			7・1
3日目	Aコート	審判	Bコート	審判	本部						
第1試合	6 - 7	3	2 - 5	4	1						
第2試合	1 - 3	6	4 - 7	2	5						
第3試合	5 - 6	1	3 - 4	7	2						
第4試合	1 - 2	5			7						

1リーグ6チーム制：3日間、1日5試合で行う場合

	1日目	2日目	3日目
第1試合	1-6	3-6	4-5
第2試合	2-3	1-4	2-6
第3試合	1-5	2-5	3-4
第4試合	2-4	4-6	5-6
第5試合	3-5	1-3	1-2

1リーグ6チーム制：2日間、1日目8試合、2日目7試合行う場合

	1日目	2日目	1日目	2日目
第1試合	3-6	4-5	第5試合	4-6
第2試合	1-4	2-6	第6試合	3-5
第3試合	2-3	1-3	第7試合	1-6
第4試合	1-5	2-5	第8試合	2-4

- ※ 各部、最終日の最後の試合を1-2とし、原則、同一チームが2試合連続して試合を行わないようにする。又、最低でも1試合はあけるようにする。遠隔地のチームの大学の授業などを考慮して試合順を入れ替えてもよい。
- ※ 3部以下は、3日間で行うことを原則とするが、所属校の事情により、2日間での開催を認める（棄権チームがあった場合を含む）。原則と違う日程・組み合わせで実施する場合、学連競技委員会に報告することを前提とする。

◎補助員

試合終了直後のチームが次の試合の「補助員」となる。補助員は「審判校」又は「本部運営校」となり、試合の運営を円滑にするように努力する。尚、原則として、第1試合の補助員は当該日の第3試合の試合予定校とする。（男女1部及び男女最下部を除き、各試合とも試合校2，審判校1，本部運営校1，次の試合校2でリーグが運営される）

◎ 当番校

できるだけ会場校又は会場に近い大学に依頼する。当番校は、試合会場の準備及び後片づけを担当する大学であるが、2部以下の場合、試合会場の準備は当該試合日の第1試合の本部運営校、審判校が、後片づけは最終試合の審判校、本部運営校が、当番校と協力して行うように、代表校が、事前に各大学、均等になるよう考慮し決定する。

②-2 リーグ戦形式の順位決定方法

次の採点法を用いて順位を決定する。勝ち点が多いチームを上位とする。

勝者-2点、敗者-1点、棄権または没収試合-0点

この方法によって、2つあるいはそれ以上のチームが同点となった場合は、下記の方法によって順位を決定する。

- I セット率（取得したセットの総数を、喪失したセットの総数で割ったもの）が高いほど高順位とする。

$$\text{セット率} = \frac{\text{全試合の取得したセット総数}}{\text{全試合の喪失したセット総数}}$$

- II Iの計算によってもなお同順位となった場合はポイント率（全試合の総得点数を全試合の総失点数で割ったもの）が高いほど高順位とする。

$$\text{ポイント率} = \frac{\text{全試合の総得点数}}{\text{全試合の総失点数}}$$

- III IIの計算を行ってもなお同順位がある場合、次の方法による。

- (a) 2チームの場合は、相互の試合の勝チームが上位となる。
- (b) 3チーム以上の場合、当該大会の大会委員長、競技委員長、審判長が順位の決定方法を決定する。

③最下部の運営指針

下記の運営方法を指針とするが、所属校の話し合いで、変更を認める。ただし、遠方からの参加校の事情を十分に考慮した内容であることを前提とする。

- 1.最下部が13チームを越えた場合、あらたに新リーグ（6チーム以上）を新設することを原則とする。
ただし、新設後でも、棄権チーム等が多い場合等、状況に応じて、以下の方法でリーグを開催する。
- 2.最下部、または最下部の上位リーグ参加チームが4チーム以下となった場合、上位リーグの了承の元、上位リーグに含めて、開催する。（合計12チーム以下となることを想定）
- 3.最下部が12・11チームの場合、前季の順位を基準に、均等になるように2グループに分け、予選リーグ戦方式で開催する。（2日間での開催を原則とする）予選リーグの結果に基づき、各グループ上位2チーム、計4チームによる順位決定トーナメントを開催（3日目）。
- 4.最下部が10チームの場合、前季の順位を基準に、均等になるように2グループに分け、予選リーグ、順位決定リーグ方式で開催する。（2日間での開催を原則とする）
- 5.最下部が9チームの場合、前季の順位を基準に、均等になるように3グループに分け、予選リーグ、順位決定リーグ方式で開催する。（2日間での開催を原則とする）
- 6.最下部が8チームの場合、前季の順位を基準に、均等になるように2グループに分け、予選リーグ、順位決定戦方式で開催する。（2日間での開催を原則とする）

3-4 シードについて

競技会のシードの原則

- ①前回当該大会を資料とし、主として第3位以上のチームを対象とする。
- ②当該大会に関連する近接の大会成績を尊重する。
- ③各競技会におけるシードチーム数は最大8チームを原則とする。
- ④シードチーム名、及びそのシード位置は代表者会議の際、組み合わせ抽選に先立って当該大会競技部より発表される。

3-5 抽選方法

【抽選の原則】組み合わせの抽選は当該大会の競技部部長が主宰して下記項目により、参加チームの代表が定められた順位に従ってこれを行なう。

※トーナメント戦（東海インカレ等）において、同大学から複数チームが参加している場合はそれらのチームを次のようなゾーンに分け、同大学同士が同じゾーンにならないようにする。

2チームの時 2分の1ゾーン

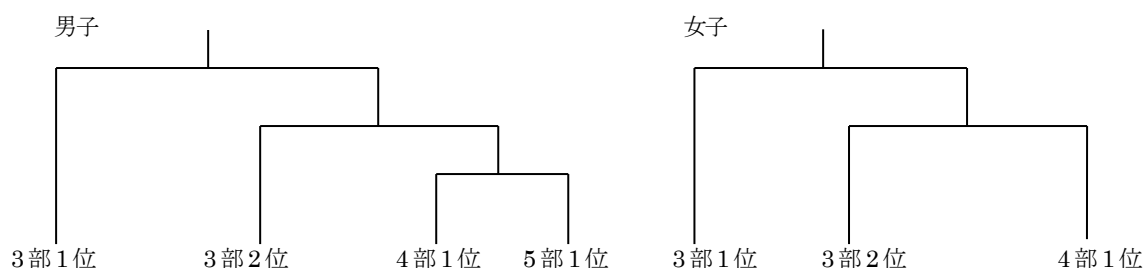
3～4チームの時 4分の1ゾーン

※抽選順序は申込書の受付順を原則とするが、必要があれば抽選順を抽選によって決定してもよい。

3-6 入替戦・プレーオフ

プレーオフは、各リーグの順位によって、以下のように行われる。

〈トーナメント表〉



トーナメント方法は、3部1位をスーパーシード、3部2位をシードとする。すなわち4部1位と5部1位の勝ち上がったチームが3部2位と対戦、さらに勝ち上がったチームが3部1位と対戦し、最終的に優勝チームをプレーオフ1位、準優勝のチームをプレーオフ2位とする。

入替戦は、各リーグ順位によって、以下のように行われる。諸事情により、変更のある場合は、そのリーグの学連委員会、代表者会議で、通達・確認するものとする。

男子

1部8位－2部1位	入替戦(5set)
1部7位－2部2位	入替戦(5set)
2部8位－プレーオフ1位	入替戦(5set)
2部7位－プレーオフ2位	入替戦(5set)
3部7位－4部1位	自動入替
3部6位－4部2位	入替戦(3set)
4部7位－5部1位	自動入替
4部6位－5部2位	入替戦(3set)

女子

1部8位－2部1位	入替戦(5set)
1部7位－2部2位	入替戦(5set)
2部8位－プレーオフ1位	入替戦(5set)
2部7位－プレーオフ2位	入替戦(5set)
3部7位－4部1位	自動入替
3部6位－4部2位	入替戦(3set)